

2017.10



シルバー こうべ

編集発行：(公財) 神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター
 〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 (サンバル10階)
 ●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066
 ●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181
 ●西部センター／621-6880 ●本部／252-0316
 電話番号はおかけ間違いのないようにお願いします
 ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

神戸市シルバー人材センター 会員表彰と発注者へ感謝状の贈呈を行いました

9月4日(月)「第32回いきいきシルバーのつどい」において、永年にわたり、シルバー人材センター事業の発展に貢献された会員の皆さまに表彰状と記念品を、発注者さまに対して感謝の意を表するため、感謝状と記念品の贈呈を行いました。

【会員表彰】

- ・南 悦子 様
- ・植松 護 様
- ・小原 英子 様
- ・中山 久忠 様
- ・舞田 力 様
- ・佐藤 正隆 様
- ・稲上 啓三 様
- ・内田 好彦 様
- ・大沢 國雄 様
- ・地頭所哲次 様
- ・来栖 邦子 様

【発注者感謝】

- ・株式会社ケーニヒスローネ 様
- ・一般財団法人 日本老人福祉財団 神戸ゆうゆうの里 様



<会員表彰>



<発注者感謝>

配分金支払日のお知らせ

10月分 11/15 (水)	11月分 12/15 (金)	12月分 1/19 (金)	1月分 2/15 (木)	2月分 3/15 (木)
--------------------------	--------------------------	-------------------------	------------------------	------------------------

第32回 「いきいきシルバーのつどい」大盛況!

川淵三郎さんの講演と映画「家族はつらいよ」を上映、 約1,200名の方が楽しいひと時を過ごされました。

9月4日（月）に当財団の主催で「いきいきシルバーのつどい」を神戸文化ホール大ホールにて開催しました。

第一部は日本サッカー協会キャプテンの川淵三郎さんをお招きし、「夢があるから強くなる」をテーマにサッカーをはじめスポーツ界について、また、健康についてのお話をお聞きしました。

アマチュアスポーツであったサッカーをプロ化してサッカーリーグを設立するまでのお話を時に専門的に、時にやさしい言葉でお話いただきました。

プロリーグ設立までには、いくつも壁があったそうで、その壁をひとつひとつ乗り越えてたどり着いたことを情熱をもって語っていただきました。

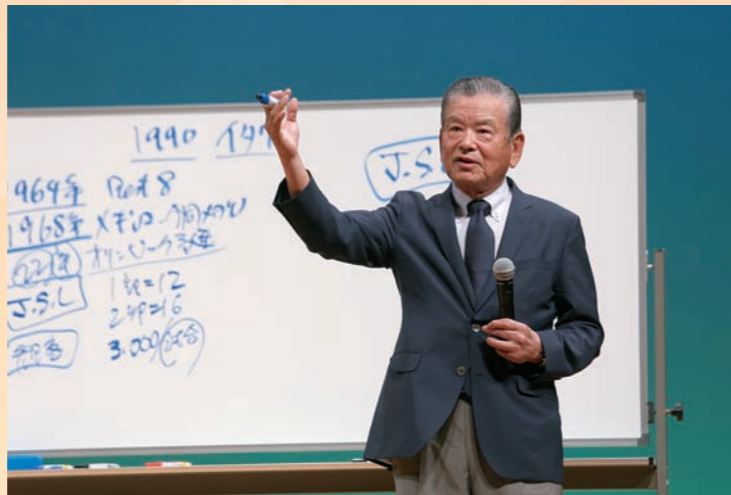
まさに、“サッカーをプロ化したい”という方々の夢があったからこそ強くなっている現在のサッカー界といえますね。

さらにこの経験を活かし、バスケットボール界の改革にも取り組み、分裂していた二つの男子バスケットボールリーグを統合して、昨年、新しい男子バスケットボールリーグ、Bリーグが誕生しました。

講演の冒頭には、健康のためにつま先立ちを毎朝30回したら足が元気になるといふことで、ふくらはぎは第二の心臓と言われていて鍛えると足が活性化されるという話をされました。「三日坊主にならずに続けています」とのこと皆様も是非とのお話でした。

80歳を迎えられた現在も元気にご活躍されている川淵三郎さんのお話の後は、山田洋次監督、橋爪功主演の大ヒット映画「家族はつらいよ」を笑いいっぱいにご覧いただき、盛りだくさんのつどいは終了しました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



安全パトロールを実施しました!

7月18日（火）会員安全就業推進委員会による安全パトロールを中央区の東遊園地で行いました。

現場では園内清掃・灌水作業を見学し、その作業内容について、委員全員でチェックしました。夏季の屋外作業になるため、とくに熱中症対策に注意しないといけないことや、観光客の方もたくさん来られるので、周囲への配慮が必要になるなどの指摘がありました。なお、シルバー人材センターでは、このような全体パトロール以外にも各センターにおいて自主的にパトロールを行っております。

シルバーでの就業は、何よりも安全が第一です。皆様もケガが無いように、事故を起こさないように就業していただきますよう重ねてよろしくお願い申し上げます。



空き家・空き地の管理などでお困りの方へ

最近、全国的に空き家や空き地が増えており、社会問題化しています。神戸市シルバー人材センターでは、市内の空き家・空き地の適切な管理を推進していくため、昨年11月に神戸市と協定を結んで、

空き家や空き地の管理などでお困りの方をサポートする事業

に取り組んでいます。

★例えば・・・

○ふるさと納税の返礼品として 「空き家・空き地の草刈り作業の割引」を実施!

→ 空き家や空き地の所有者の方が、神戸市にふるさと納税（1口3万円）をしていただくと、返礼品として、草刈り作業を1口毎に9千円、お値引きしています。

○所有者の方からの依頼に基づいて、管理業務を受注!

→ 除草・剪定作業は勿論、換気（通風）や簡単な清掃などの定期的な管理業務を受注しています。また、目視による屋外点検や屋内点検を行い、所有者に報告する点検業務もスタートしています。



皆さんのまわりで、もし空き家や空き地の管理で困っている方がおられましたら、シルバー人材センターにお気軽にご相談いただくよう、お声かけください。

職場リポート
東部センター

『神戸市自転車・原付保管所の仕事について』



**放置自転車は神戸市のトラックで撤去!!
皆さん、必ず指定の場所に置いて下さい。**

神戸市内を歩いているとこの様な看板があります。
見られたことはありますか…?
この赤いエリアは自転車・原付放置禁止区域で、もし…
放置していた場合は撤去されますよ～ ご注意ください!!

東部建設事務所	魚崎浜 保管所
中部建設事務所	稗原 保管所
西部建設事務所	三宮 保管所
	湊町 保管所
	名谷 保管所
垂水建設事務所	須磨 保管所
	西代 保管所
西建設事務所	西神 保管所
北建設事務所	学園都市 保管所
	北岡 保管所

神戸市自転車原付保管所は神戸市建設局道路部からの委託契約で神戸市シルバー人材センター東部センターが仕事を受けています。6建設事務所、13保管所で神戸市自転車原付保管所では約55名のシルバー会員が月曜日～土曜日(月一人、15日程)の勤務シフトで就業しています。

*** 自転車・原付保管所で働いている会員の仕事現場をご紹介します ***



**1. 神戸市のトラックで自転車・原付が保管所へ運ばれてきます。
月に2～5日の撤去日があります。
1日あたり100台近くの自転車・原付が運ばれてくる場合があります。**



2. 保管所内の所定の位置へ自転車を移動し台帳整理を行います。

- ① 自転車を取りに来られた方々に直ぐに対応出来る様に先ず自転車を運び、車両No.、盗難届のシール確認、台帳整理を行います。
- ② 防犯No.シール、車輛No.をパソコンに入力し神戸市建設事務所経由で警察へそのデータを渡します。
- ③ 内容結果を会員がハガキを作成し郵送します。



自転車・原付がトラックで運ばれてきたら
車体番号・盗難車番号を記帳します。
この時季は夏でしたので…
シルバー会員の皆さんは汗だくです…



保管所の事務所内では会員がパソコン、FAX等のOA機器を使いこなしています。先程の車体番号・盗難車番号を記帳した内容を会員がパソコンへ入力していきます。



**3. 撤去された自転車・原付の持ち主が保管所へ
自転車・原付を取りに来ます。**

持ち主が自転車・原付を取りに来たら自転車2,000円、原付4,000円を徴収し、持ち主に自転車・原付をお返しします。

自転車を取りに来た方々への対応は重要です。
接遇(せつぐう)マナーについては十分注意しています。

- ① 感じの良い対応
気持ちの良い挨拶や笑顔で対応。
- ② 仕事に熱意をもってさわやかな対応
仕事の内容を熟知し説明がしっかりでき、正確・迅速な対応。
- ③ 態度や身だしなみ
親切・丁寧な態度と清潔な身なりを心掛けた対応。

撤去された自転車・原付を取りに来られた方とのトラブル事例。

- ① 自転車を取りに来られたが「1900円しか無い」と言って保管所に居座られた。結局、警察に連絡し警察側が100円を立て替えて(本人が100円を警察に返す条件で)やっと帰って頂いた。
- ② 撤去された自転車を会員が保管所内で移動中にブレーキレバーを破損させた。保管所側で修理し引き取り者へ返還した。
- ③ 引き取り者の身分証明書を提示してもらったが引き取り者が忘れて帰ってしまった。等々…会員の皆さんは色々苦勞されています…

「会員の声」

この仕事は自転車・原付を取りに来られる方々に喜んでもらえる仕事ではありません。辛くアタラレル事が多々ありますが…だからこそ対応するマナーに十分注意し、説明等は、はっきりと熱意をもってさわやかに、お金を頂いて自転車・原付を返還しています。神戸市の職員に代わって仕事に携わっていることを常に認識し、事故を起こさないように常に心掛けています。

FAX送信は間違いのないように!

最近、会員さんから各センターへFAXを送信していただくのに、番号の記憶違いか番号の押し間違い等で全く違うところへ送信される場合があり、トラブルとなるケースもあります。番号を十分確認の上、間違えないようにお願いいたします。

運動能力をアップさせる【神経びんびん体操】

平成29年8月30日（水）にNHKガッテンで放送された「運動神経の伝達をよくする神経びんびん体操（くねくね体操・がにがに体操）」を会員の皆様に紹介いたします。

この運動は「神経びんびん体操」として、徳島大学の荒木秀夫先生が考案されたものです。

実はくねくね体操の結果よくなるのは、「運動神経」なんです！

脳から神経を通して筋肉に指令が伝わります。

つまり脳が発電所⇒運動神経は通電の役割を持っています⇒通電がしっかりできないと指令が伝わらないのです。

身体能力を決めるのは「神経」だというデータもあるそうです。

筋肉ではなく神経が大切だったなんて驚きです！

神経の伝達をよくすることで **筋肉の減少を防ぐ** ことができる！

多くの学校に導入されて子供の運動能力を向上させる実績があがっており、大人であれば転びにくくなるようになるとても簡単な運動です。

その①：くの字体操

1. 足は肩幅程度に開いてまっすぐ立つ。
 2. 頭を固定して、腰を左右に動かし体全体で『くの字』を描くようなイメージで左右に揺らす。
- テレビを見ながらでもできるとても簡単な体操です。



その②：Sの字体操

1. 足は肩幅程度に開いてまっすぐ立つ。
 2. 肩と腰を左右に平行移動させるように肩を先に動かし腰があとから追いかけるように揺れる。肩が先に入り、肩の高さは変えないように意識します。
- この運動は頭の位置も左右に動く運動です。



その③：がにがに体操 ※すこし激しい動きの体操です

1. 肘から垂直に腕をあげ、肘の位置は肩くらいに上げてまっすぐ立つ。
 2. その位置で片足ずつ小刻みにジャンプしながらひざと肘をつける。これが基本形ですが高齢者の方は、ちょっと優しく上げたひざを手でタッチする様にしましょう。
 - ↓（左右交互に）
 - できるようになったら、片足ずつひざをしっかりと上にあげ、あげた足の腿に肘をつける。
 - ↓（左右交互に）
 - リズムカルにしっかり行う。
- という流れで慣れるまでゆっくりすること。動きが激しいので、転倒や関節を痛める可能性がありますので絶対に無理をしないでください。



※目安はそれぞれ1日10分程度、がにがに体操は3日に一度ほど、痛みが出た場合はすぐに中止してください。

兵庫県シルバー人材センター協会が主催するイベントのお知らせ

兵庫県シルバー人材センター事業推進大会

日時	平成29年10月19日(木) 13:00~16:00
場所	神戸新聞文化情報ビル 4階 松方ホール
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● シルバーの会員・職員・安全就業等の表彰式(神戸市シルバーの会員も表彰されます) ● 姫路市シルバー人材センターによる事例発表 ● 講演 姫路市善教寺住職 結城思聞(松倉悦郎)氏 「心豊かに生きるために」



お問い合わせは
 兵庫県シルバー人材センター協会まで
 神戸市中央区下山手通5-7-18
TEL (078) 371-8012

(兵庫労働局委託事業)

主催:(公社)兵庫県シルバー人材センター協会

今、地域の高齢者の力が見直されています。講習を受け、新たな仕事に就いてみませんか!

受講生募集!

シルバー会員の就業を支援する講習!

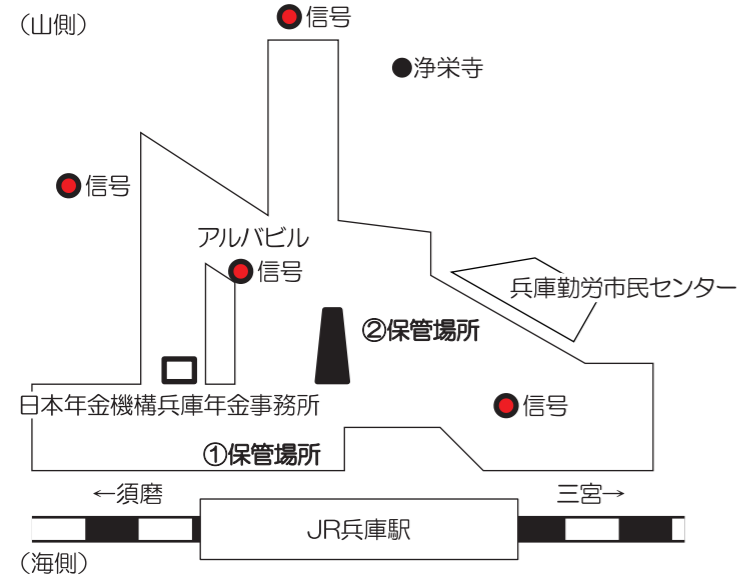
受講料無料

講習番号	講習名	募集期間		講習期間		講習日数	受講定員数
		受付開始日	締切	開始日	終了日		
28120	送迎(福祉)ドライバー	9月15日(金)	10月30日(月)	11月 7日(火)	11月14日(火)	5	15
28125	店舗スタッフ	10月13日(金)	11月27日(月)	12月 6日(水)	12月15日(金)	7	15
28112	生活支援(介護・清掃・調理)	10月16日(月)	11月28日(火)	12月 7日(木)	12月26日(火)	6	20

お問合せ **公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会 事業課**
 〒650-0011 神戸市中央区下山手通5丁目7番18号 兵庫県下山手分室3階
 TEL : 078-371-8012(平日9時~17時30分) FAX : 078-371-8016



JR兵庫駅前における路上駐輪場を活用した “新しい駐輪場”がお目見え!



駐輪管理業者の株式会社アーキエムズが、既存の駐輪場運営に駐輪指導・保管業務を併せて行うという神戸市では初めての運営スタイルです。



神戸市は本年7月末からJR兵庫駅北側の自転車放置禁止区域で迷惑駐輪をより効率的に解消するため、歩道などの放置自転車を近くの有料駐輪場に強制的に移動させる新しい取り組みを始めました。その際、既存の2ヶ所の駐輪場を使って①・②保管場所をつくり保管期間を最大6日間とし、移動させた放置自転車の所有者から通常の利用率より割高の保管料を徴収します。



駐輪場の正規利用者は最初の1時間は無料、以降は6時間ごとに100円必要になります。これに対して駐輪場に強制撤去された放置自転車の保管料は初日が1,000円、2～6日目は1,500円となり、7日目以降は湊町の保管所に移され保管料は2,000円に上がります。



条例に基づく放置自転車に関する禁止区域及び駅前広場・道路の公共の場所等に放置された自転車等は、歩行者や車両の通行の障害になります。更に災害時には緊急車両の通行を阻害し、安全安心な街づくりに支障をきたすことから条例に基づき撤去されます。

お客様からの問い合わせ等は、主に駐輪場管理運営業者「コールセンター」で行い、中部建設事務所も対応・指示などを行います。指導・撤去・保管などのお客様との直接対応は新しくスタッフ(シルバー会員6名)を増員し住み良い街づくりに少しでも貢献できるようにスタッフ全員で努めていきます。

相撲甚句を一緒に唄ってみませんか!

シルバー人材センター会員 森地寿夫 昭和17年生の75歳です。西部センターから住宅管理人の仕事をいただき、月に10日程勤めています。この勤めが生活のリズムになっています。

そして私の続けていることは足腰の運動に太極拳を13年、声肺の鍛錬に相撲甚句を唄い始めて7年になります。勤めを休むことなく続けられるのも体を動かし大きな声を出しているお陰かと思えます。

そこで今回は相撲甚句のことを紹介させていただきます。この唄は江戸の昔から相撲と共に日本全国を興行の際には無くしてはならないものとして広く伝わってきたものの一つです。まくら唄、本唄、ハヤシ唄の三部構成になっており、ひとりの唄い手と「ホイ」や「ドスコイ」という合いの手を入れる仲間の存在で成り立ち、楽器を使わず声だけで表現する難しさと面白さがあります。

感情の入れ具合で楽しくも悲しくも表現でき、日本人の心を揺さぶり感動さえも与えます。そしてその歌詞は物語として、時代の流れや世評を表現することができ、唄うだけでなく作る魅力をも兼ね備えています。

この様な相撲甚句の稽古を月に2回県民会館でやっています。そして介護施設の慰問やイベント等に出演して喜ばれています。

会員の皆様には相撲甚句に馴染みが無いと思いますので、ぜひ一度見て聞いていただければきっとご自分で唄いたくなると思います。

来る10月21日(土)に神戸相撲甚句会の仲間達と6年振りに兵庫県民会館(県民ホール)で13時30分から発表会を開催することになりました。入場料は無料ですので、ご興味のある方は是非お越しください。

お問合せ先
住所 神戸市垂水区高丸3-1-27-106 TEL・FAX:078-705-3891
神戸相撲甚句会 代表者 森地 寿夫



いなみの学園での講演風景



全国大会で入賞



ふれあい喫茶訪問風景

相撲甚句とは
大相撲を軸で支える文化の縮図相撲甚句
相撲甚句は江戸時代から唄い継がれた歴史ある歌の形です。
唄では花相撲や地方言葉など相撲にかかわる物事の傍に、相撲取りが土俵の上で戦っている、一度では聞けない、など唄われています。独特な歌出しが特徴で、作詞をするにより誰でも自由に表現することが出来ます。

平成29年 10月21日(土)
開演 13:30 (開場 13:00) <特別公演 講演> 相堂 壽左衛門 入場無料
兵庫県民会館(9階) 県民ホール
主催 日本相撲甚句会 認証団体 神戸相撲甚句会
後援 (公財)兵庫県芸術文化協会・神戸新聞社

第13回西部地区神戸大会案内

安全就業ニュース

「交通事故に注意しましょう」

自転車による重大事故が多発しています

平成28年度中に神戸市内での交通事故で3名の方が死亡、1,110人の方が負傷されています。交通事故では、自動車事故の次に自転車事故が多くなっています。

「信号」の遵守、一時停止指定場所での「確実な停止と安全確認」、交差点通過時の「左右の安全確認」等を徹底し、正しいルールとマナーを守り、ゆとりを持って、自転車を運転しましょう。



交通安全キーワード【こいぬのあしあと】

兵庫県警察では、今年度、交通事故防止の約束として「こいぬのあしあと」をキーワードに、交通安全について呼びかけています。

- こ…交通安全は 家庭から
- い…いつものみちでも とまる・みる・まつ
- ぬ…ぬれたみちでは スリップにちゅうい
- の…のるときは ブレーキ・ライト大丈夫
- あ…あおしんごうでも みぎ・ひだり
- し…シートベルトは カチツとなるまで
- あ…あかるいふくと はんしゃざい
- と…「とまれ」の場所は いったんとまって みぎ・ひだり

「安全の基本を再チェックしましょう！」

1 正しい服装・保護具の着用

袖や胸元のボタンを締め、上着やズボンのすそが乱れないようにしましょう。作業時にはヘルメット等の保護具を着用しましょう。

2 就業前ミーティング

就業前ミーティングに積極的に参加し、作業手順の確認や危険予知などにより「安全のポイント」を把握しましょう。

3 作業前はあせらば呼吸置く

一つ一つの作業前や非常作業など不慣れな作業を始める前、また「あせっている」「あわてている」と思ったところで、一呼吸置きます。その際、これから行う作業の手順や安全のポイントを改めて思い浮かべてから作業にとりかかりましょう。

4 声かけ・コミュニケーション

周囲の安全面で気になることがあったら、積極的に声をかけましょう。なお、挨拶も含め、普段から会員同士のコミュニケーションをとっておきましょう。

5 ひと仕事ひと片付け

ひと仕事終わったら、周囲の片付け、就業中に生じたゴミなどを清掃しましょう。作業スペースや通路の確保は安全就業の基本です。

これくらいなら大丈夫!と無理をすると、事故のもとです。これから寒くなってきます。自分が思っているほど、体が動かないものです。経験を過信せず、身体機能の低下も意識しましょう。



人生遊歩 中部センター

「シルバー人材センターと私」

岡部 昭子 さん

シルバー人材センターに入会

シルバー人材センターに入会したのは、近所の奥さまの言葉でした。「シルバーさんから仕事を頂いたので働きに出かけます。」そんな話をしてくれました。まだその時は自分の第二の人生が「すべてシルバーになる」とは思ってもいませんでした。

入会後しばらくは仕事もなく、そんな時に「センターに顔を見せに来てくださいよ」と言われた言葉につられて、中部センターに伺いました。その時「チラシ配りならありますよ、運動にもなりますし、自由時間に配れるし、良い仕事だと思いますよ」と言われ、配布の仕事をさせてもらいました。その時に不思議に感じたのが配布場所でした。私の住んでいる地区ではなく、隣の地区だったからです。また、その後、チラシの仕分け作業をされていた方が突然入院され、私が引き継ぐことになりました。

家事援助班とミシン工場の立ち上げ

家事援助班に参加させて頂き、少しずつ仕事の輪が広がっていきました。そんな時に、中部センターの2階に電気製品を修理する工房がありましたが、「ほかの階で部屋がまだ空いているので、もし会員の方で洋裁が出来るなら、そんな工房を作ったらどうか」そんなアドバイスを頂きました。当時の所長さんに相談したところ、兵庫県シルバーにも神戸市シルバーにも洋裁部門がなく「ミシン工房」を立ち上げてくれれば、そんな嬉しいことはない喜んでいただきました。「私がブレーキを掛けなければいけない位、やって下さい。」と所長さんに励まされ、シルバーのお役に立てられたらと、工房に集まってくれた会員さんと共に協力して、バザーに出店する為に人形、帽子、小物作りなどに力を注ぎました。



保育園より作成依頼のあった着せ替え人形

思いがけない出会い

兵庫県シルバー事業推進大会が、松方ホールで行われ、ある年、女優の藤田弓子氏が講演されました。私は、ミシン工房として人形と手作り小物を用意し、プレゼントとして手渡すことになっていましたが、司会者にそのことがうまく伝わってなくて、女優の藤田様から「いつ、いただけるのかしら？」との声がかかり、壇上に上がってお渡しをすることができました。そのあと控室にも呼んで頂き、このハプニングが私への貴重なギフトになりました。人生、何が幸いするか、…瞬間にやってくるものですね。

また、有名な人形作家の与勇輝（あたえ ゆうき）様とお会いすることが出来ました。ある日、市役所での封入封緘作業の仕事を受けていたのですが、作業に必要な材料が無くなってしまい、続きは明日という事になりました。午後2時に仕事を終え大丸デパートに立ち寄ったところ、与勇輝様のポスターが目につきインフォメーションで案内してもらったのですが、「本日で終了になります」とのことので急ぎミュージアムへ！私も人形作りをしていましたので、時が経つのも忘れて作品を見入っていたところ、会場係員の方が声をかけて下さり「最終日ですので与氏が来られています。お逢いになりますか。ご案内しますよ。」という事で、2人きりでお話をすることが出来ました。また朝日新聞のカメラマンにパチパチと写真を撮られ、夕方のテレビニュースに！びっくりしました。



洋裁教室での筆者(写真左側)と受講生(会員)

洋裁教室の開講

ある時に水墨画教室を見学させて頂き、私もこのような教室をしたいと思い、当時の所長さんに相談させて頂きました。所長さんは前向きな方で、「やってみましょう。やってみない事には結果が出ません。」という言葉をいただき、ミシン工房を

立ち上げた時と同じく、大勢の方々のお力添えを頂き、洋裁教室を開講することが出来ました。もうすぐ開講して4年になります。

今では、洋裁教室を始める前に、茶話会のように受講している会員の方と料理の話をしたり、お悩み相談であったり、色んなこともできるようになりました。コツコツとこれまでやり続けてきたことが、現在につながっています。

今も続いています

今も私は、広報紙の配布、チラシの仕分けなど、そしてミシン工房、イベントでの小物販売、洋裁教室と日々本当に楽しく生きています。配布作業から始まり洋裁教室開講までの出会いとその体験を描き切れませんが、言い尽くせぬ感謝の気持ちでいっぱいです。

シルバーの合言葉「自主・自立、共働・共助」に「希望」を加えて、やりぬきたいものです。



神戸まつりでのビーズ遊び

読書の秋、図書館へ行ってみませんか？

10月27日から11月4日は「秋の読書週間」です。市内の各図書館(11館)では読書に親しんでもらうための様々な行事を開催します。

「観光の国際年」である今年は、「読むたびに、知るたびに。」というキャッチフレーズのもと、“たび”を共通テーマとして、全館で本の展示や講座などの催しを行います。中央図書館では、“旅”と“観光”の歴史的な背景を図書館の所蔵資料で紹介する展示や講演会、大人のためのおはなし会、書庫など普段は立ち入ることのできないバックヤードツアーなどを開催します。また、毎年好評の不用雑誌の譲渡会(リサイクルフェア)も開催しますので、この機会に図書館に行ってみませんか？

※地域図書館の行事は、図書館ホームページや図書館で配布する「読書週間行事一覧」をご覧ください。



神戸市立中央図書館 電話(078)371-3351

広告

来たる南海トラフ巨大地震に備えて・・・

 神戸市からのお知らせ

“すまいの耐震化”できていますか？

- 昭和56年5月以前に着工された住宅は **無料** で耐震診断を実施します。
※諸条件あり。プレハブ、ツーバイフォー、丸太組工法の住宅は対象外です。
- 耐震改修の工事を実施される方には最大 **157** 万円を補助します。
- 家具固定の工事を実施される方には最大 **1** 万円の補助、または2家具まで **無料** で実施します。
※65歳以上、障がい者、小学生以下の子どもがおられる世帯が対象です。

お申込み・お問い合わせはこちらまで

Tel. **078-222-0186**



神戸市すまいとまちの安心支援センター

すまいるネット 10時~17時
(水曜・日曜・祝日を除く)

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル4階 すまいに関すること何でもご相談ください。

「すまいるネット」は神戸市が設置した「すまいの総合窓口」です。